

開催趣旨

伊勢湾(三河湾含む)は、人々に豊かな海の幸を供給するとともに、海上交通の場、住民の憩いの場などとして利用されてきました。しかし、近年の工業化、都市化の一層の進展による水環境の悪化、自然海岸や海生生物の生息の場の減少など、多くの課題を抱えています。

本シンポジウムは、伊勢湾の良好な自然環境及び、その周辺地域の総合的な発展と保全に向けた様々な取り組みを皆様と考えていくとともに、伊勢湾を再生するための目標や、今後の施策を多くの人に知ってもらい、伊勢湾再生に向けた取り組みに参加していただくために開催するものです。

プログラム

- 開会 13:30
- 基調講演 13:45

「伊勢湾の秘密」中村 幸昭 氏 (鳥羽水族館 名誉館長)

休憩 14:30

- パネルディスカッション 14:45

「伊勢湾再生の実現に向けて」

コーディネーター

中田 喜三郎 氏 (東海大学海洋学部環境情報工学科 教授)

パネリスト (五十音順)

藏治 光一郎 氏 (東京大学 愛知演習林 講師)

柴田 甫彦 氏 (特定非営利活動法人長良川環境レンジャー協会 理事長)

永田 桂子 氏 (NPOシーブリーズ三河湾 代表)

畠井 育男 氏 (伊倉津漁業協同組合 顧問)

- 閉会 16:30

基調講演

中村 幸昭 氏 (なかむら はるあき)

鳥羽水族館 名誉館長



昭和 30 年、鳥羽水族館を設立、現在に至る。

鳥羽水族館名誉館長、鳥羽商工会議所会頭、みえの国観光大使、日本文芸家クラブ顧問、三重県博物館協会会長、日本WHO協会理事、名古屋税関名誉署長(伊勢志摩地区)、日本大正村議会議長、元日本動物園水族館協会副会長などを務める。

第5回日本作家クラブ賞、昭和 60 年度東海テレビ文化賞、日本観光協会功労賞、文部省地域振興功労賞、平成 6 年藍綬褒章受章、平成 16 年旭日小綬章受章、平成 18 年三重県民功労者表彰を受賞

【主な著書】「鳥羽水族館 館長のジョーク箱(ボックス)」第三文明社、「海の宇宙」朝日新聞社、「マグロは時速 160 キロで泳ぐ」PHP研究所、「タイは恋をすると赤くなる」PHP研究所、「ゾウは子どもを蹴ってしつける」PHP研究所、「動物夜話」葵通信社、「海の幸と健康法」「自然に学ぶ健康法」「生物に学ぶ健康法」にっかん書房、「旬の食べ物には驚異的な薬効あり」朝日ソノラマ、「ジュゴンの嫁とり物語」飛鳥新社、「驕るなけれ—鳥羽水族館・夢とロマンの半世紀—」中部経済新聞社 など

出演者プロフィール

コーディネーター

中田 喜三郎 氏 (なかた きさぶろう)

東海大学海洋学部環境情報工学科 教授



昭和 45 年通商産業省工業技術院資源環境技術研究所に入所、平成 9 年より現職。現在に至る。中部空港建設に伴う環境影響評価委員会、同漁業影響評価委員会、伊勢湾口横断道路建設に伴う漁業影響評価委員会、深海底鉱業とともに環境影響評価委員会などを務める。

科学技術庁長官賞、海洋理工学会論文賞を受賞

パネリスト (五十音順)

藏治 光一郎 氏 (くらじ こういちろう)

東京大学 愛知演習林 講師



マレーシア・サバ州森林局森林研究所研究官(青年海外協力隊員)、東京大学助手、東京工業大学講師を経て、現在に至る。

矢作川森の研究者グループ共同代表、日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト「青の革命と水のガバナンス」研究グループ長、とよた森づくり委員会委員などを務める。

【主な共編著等】「森の健康診断—100 円グッズで始める市民と研究者の愉快な森林調査」築地書館、「森林認証・地域材認証と森林管理・木材利用」東京大学演習林出版局、「緑のダム—森林、河川、水循環、防災」築地書館、「森林の百科」分担執筆・朝倉書店 など。

永田 桂子 氏 (ながた けいこ)

NPOシーブリーズ三河湾 代表



平成 10 年市民団体三河湾大好き設立、代表就任。その後 NPO シーブリーズ三河湾設立、代表就任。現在に至る。市民団体三河湾大好き代表、三河湾港湾計画幹事(愛知県)、伊勢湾再生検討海域会議委員(国土交通省中部地方整備局、第 4 管区海上保安本部)、蒲郡市みなとまちづくり策定協議会委員、蒲郡商工会議所「海のまちづくりビジョン」オブザーバー、東三河流域フォーラム幹事などを務める。

柴田 甫彦 氏 (しばた としひこ)

特定非営利活動法人
長良川環境レンジャー協会 理事長



平成 7 年に長良川環境レンジャーに入会、平成 14 年副理事長、平成 16 年理事長に就任、現在に至る。

【主な著書】「長良川の環境ブック」(特定非営利活動法人長良川環境レンジャー協会)

畠井 育男 氏 (はたい いくお)

伊倉津漁業協同組合 顧問



昭和 48 年三重県漁業協同組合連合会勤務、指導部長、参事役・指導部長を経て、平成 16 年より現職。現在に至る。また、伊倉津産業(株)社長を務める。三重県沿岸整備検討委員会委員、三重県伊勢湾再生ビジョン策定検討委員会委員、三重県志摩度会海区海面利用推進協議会委員(委員長代理)、三重県水産業振興対策審議会専門部会委員を歴任。現在、財団法人三重県環境保全事業団自然環境保全アドバイザー、海の博物館調査員、伊勢湾学セミナー懇談会委員などを務める。